

市立幼稚園の今後のあり方について  
【 現状と課題 】

令和5年（2023）2月

市立幼稚園のあり方検討ワーキング会議



# 目 次

	ページ
1. 目 的	・・・ 1
2. 調査・分析による現状及び課題の整理	
(1) これまでの経過（閉園に関する方針と閉園の経過）	・・・ 2
(2) データ分析（出生数・園児数等、施設状況）	・・・ 3
(3) 市計画上の位置づけ	・・・ 7
(4) これまでの取組と状況（預かり保育、無償化の影響）	・・・ 8
(5) 幼児教育について（市立幼稚園の役割）	・・・ 11
(6) 幼稚園教育従事者の思い（委員の意見から）	・・・ 12
(7) 課題の整理	・・・ 13
3. 「市立幼稚園のあり方検討」の今後の進め方	・・・ 14
《資 料》	
出雲市立幼稚園の園児数 推移	・・・ 15
市立幼稚園のあり方検討ワーキング会議 委員	・・・ 16

## 1. 目的

近年、少子化の進行や家庭の就労状況等の社会情勢の変化により、市立幼稚園の園児数は減少の一途をたどり、一定の集団規模が保てない幼稚園が多数存在している。

平成24年9月には「出雲市立幼稚園の閉園に関する方針」を策定し、これまで、日御碕幼稚園、鵜鷺幼稚園及び乙立幼稚園の3園を閉園し、多伎幼稚園及び出東幼稚園については、保育所を運営する法人への譲渡により認定こども園としたところである。

一方、保護者ニーズへの対応策として、教育時間以外に園児を預かる「預かり保育事業」を展開しているが、園児減少の傾向は変わらない。

また、園舎の多くが古く、幼稚園25園のうち、築30年超が10園（40年超5園、50年超3園）となっており、施設の更新も課題である。

こうした中、今後の市立幼稚園において、「より効果的で均衡のとれた幼児教育」、「より効率的な幼稚園運営」を行うため、市立幼稚園が直面している現状を把握するとともに、様々なデータを分析し、課題を整理することを目的とし、市立幼稚園のあり方検討ワーキング会議を設置する。

## 2. 調査・分析による現状及び課題の整理

### (1) これまでの経過（閉園に関する方針と閉園の経過）

「出雲市立幼稚園の閉園に関する方針」を、平成24年9月28日に出雲市教育委員会が策定。

現在も、当該方針をもとに、該当する園がある場合は、地元協議を行っている。

#### ① 対象とする幼稚園

- ・学級数1以下の状態が2年続いた幼稚園

#### ② 実施にあたっての基本的な進め方

- ・地元の意向を尊重する。地元と時間をかけ十分に議論・協議を行う。
- ・地元の了解が得られた場合、翌年度からの園児募集を停止し、在園児全てが卒園した段階で閉園を実施する。

令和4年度においては、対象となる園が1園（稗原幼稚園）あるものの、地元合意に至っていない。（令和3年2月締結の「覚書」あり）

これまでの閉園経過は次のとおり。

#### 【平成26年度末閉園】

##### ① 鵜鷺幼稚園、② 日御碕幼稚園

- ・「出雲市立幼稚園の閉園に関する方針」による閉園対象である学級数1以下の状態が2年以上続いていたため、地元協議により了承を得る。
- ・鵜鷺小学校、日御碕小学校の大社小学校への統合に併せて実施。

##### ③ 多伎幼稚園

- ・平成26年度に移管先法人選定委員会開催し、たき保育園を運営する社会福祉法人への移管を決定。
- ・平成26年度末に多伎幼稚園を閉園、たき保育園は廃止。
- ・平成27年度「認定こども園 多伎こども園」開園。

#### 【令和元年度末閉園】

##### ④ 出東幼稚園

- ・平成29年度、今後の園児数の減少が想定されることから地元協議を開始することとする。施設についても老朽化していた。
- ・平成29年度に市から出東幼稚園運営協議会に対し、出東幼稚園のあり方について、3つの方向性を提案。
  - (1) 認定こども園化（認可保育所を運営する社会福祉法人等への事業移管）
  - (2) 10名以上の園児確保による幼稚園の継続
  - (3) 幼稚園の閉園
- ・運営協議会から、社会福祉法人等への事業移管による認定こども園化が最も現実的との回答を受ける。
- ・令和2年度から、近隣の認可保育所である出東保育園が認定こども園化した。

【令和3年度末閉園】

⑤乙立幼稚園

- ・「出雲市立幼稚園の閉園に関する方針」による閉園対象であった。

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
園児数	休園	2名	2名	1名	休園	休園	休園

- ・平成 29 年度に乙立小学校と朝山小学校の統合についての地元合意が得られたことにより地元協議開始。
- ・平成 30 年度に市から乙立自治協会に対し、同小学校の統合にあわせて、乙立幼稚園を閉園する方向で検討したい旨伝達。
- ・乙立自治協会の回答は、当面の間（2～3年間）休園を希望する。
- ・平成 30 年度末 乙立小学校閉校
- ・今後 10 名以上の園児が見込まれないため閉園。

①～⑤の5園の閉園については、園児数の減少、小学校の統合が要因。地元合意を得て、閉園に至った。

近隣に保育所のある所は、認定こども園化が比較的スムーズに進んだ。

(2) データ分析

① 地域別出生数の推移【資料1】 ※ 市民課 住民基本台帳から（単位；人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
出雲	1,005	935	906	894	891	981
平田	162	141	115	134	108	96
佐田	21	11	19	15	9	7
多伎	25	12	17	16	8	18
湖陵	39	43	34	26	22	19
大社	94	88	86	96	101	85
斐川	225	244	229	255	242	284
合 計	1,571	1,474	1,406	1,436	1,381	1,490

市全体としての人口は横ばい。子どもについては横ばいから減少傾向。

上表、地域別の出生数を見ると、出雲、斐川は踏みとどまっているものの、周辺部は減少している。中心部への人口の移動が周辺部減少の要因。

幼稚園や保育所等の園児数も、同じような傾向で動いているのが現状。

## ② 市立幼稚園の施設数・学級数・園児数の推移

本市の市立幼稚園は、25園あり、近年の園児数及び学級数については、以下のとおりである。

また、令和5年度及び令和6年度の数字は、出生数や近年の入園児数の割合等から算出した推計値である。

(参考：「出雲市子ども・子育て支援事業計画 中間見直し」 ※令和4年度会議資料から)

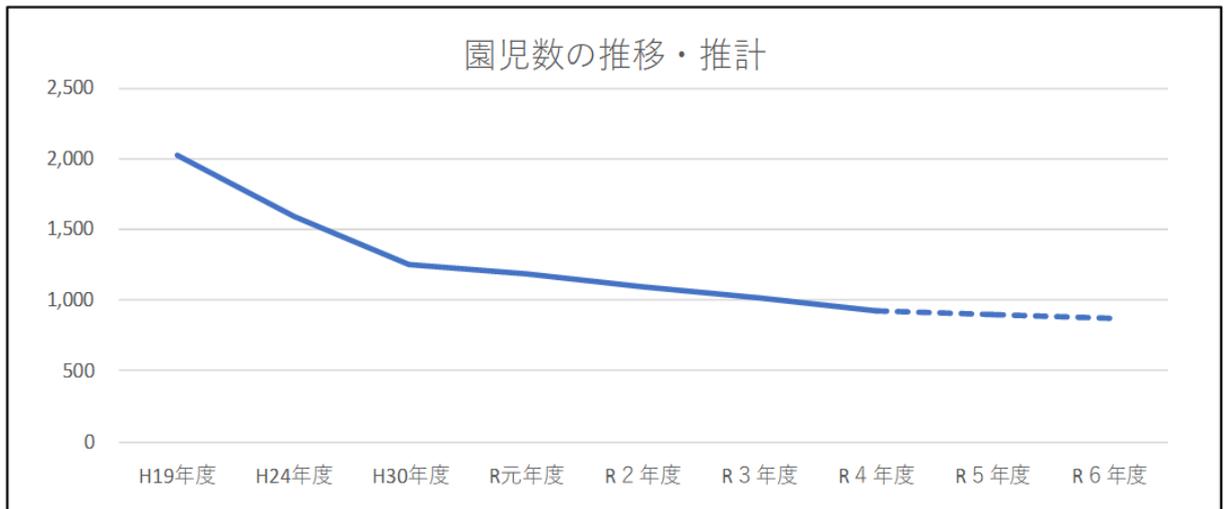
### 《市立幼稚園の園児数及び学級数の推移及び予測》【資料2】

年 度	H19	H24	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
施設数 (園)	30	30	27	27	26	26	25	25	25
学級数 (クラス)	101	86	72	69	70	65	63	62	61
園児数 (人)	2,018	1,589	1,252	1,185	1,099	1,010	924	897	873

※ 園児数は、各年度5月1日(学校基本調査基準日)時点の人数。

※ H19年度は、旧斐川町の施設数4園及び園児数311人を含む。

※ 令和5年度及び令和6年度の数値は推計値。



令和4年度の市立幼稚園の園児数924人は、15年前の平成19年度2,018人から半減、10年前の平成24年度1,589人から665人の減となっている。

令和元年度以降の減少は、多少緩やかになってはいるものの、減少傾向は依然として変わらない。

次頁の「③ 保育所等入所児童数の推移」と比較して分析を試みた。

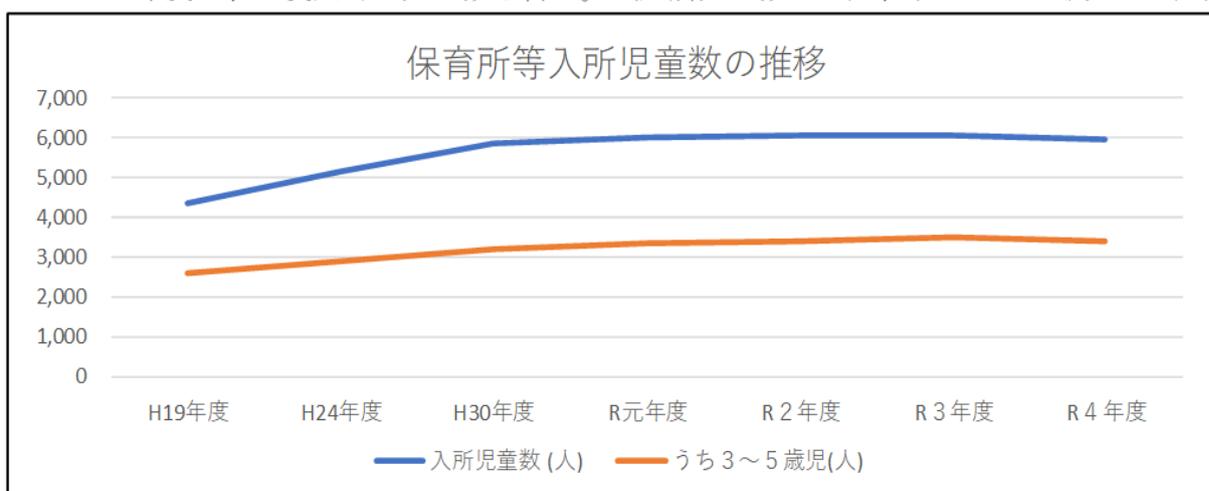
### ③ 保育所等入所児童数の推移【資料3】

区 分	H19年度	H24年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
入所児童数（人）	4,361	5,147	5,861	6,023	6,074	6,075	5,977
うち3～5歳児（人）	2,603	2,910	3,202	3,370	3,414	3,483	3,401

※ 保育所等入所児童数は、認可保育所、認定こども園、小規模保育利用児童数。

※ 入所児童数は、各年度4月1日時点の人数。

※ H19年度は、旧斐川町の児童数を含む。（入所児童数 727人、うち3～5歳児 468人）



令和4年度の保育所等入所児童数 5,977 人（うち3～5歳児 3,401 人）は、15年前の平成19年度 4,361 人（うち、3～5歳児 2,603 人）から約 1.4 倍、10年前の平成24年度 5,147 人（うち、3～5歳児 2,910 人）から約 1.2 倍の増となっている。

前頁の「② 市立幼稚園の施設数・学級数・園児数の推移」と比較すると、各年度とも市立幼稚園園児数の減が、保育所等の3～5歳児の児童数の増になっていることが読み取れる。

核家族化や共働き世帯の増により、保護者が仕事復帰のために早い年齢から保育所に預け、幼稚園就園年齢になっても幼稚園への転園を選択せず、そのまま保育所への継続入所を選択されることに要因があると考えられる。

また、幼児教育・保育の無償化となる以前は、保育所の保育料と比較し、幼稚園を選択される保護者もあったと推測するが、令和元年度に幼児教育・保育の無償化となってからは、保育料の比較で幼稚園を選択する保護者がいなくなったことも要因のひとつと言える。

#### ④ 市立幼稚園の建築年月及び築年数

市立幼稚園25園の築年数は下表のとおりであり、築年数50年超が3園、40年超が5園、30年超が2園あり、多くの園舎において老朽化が課題となっている。

日々の管理により、施設維持に努めてはいるものの、大規模な整備が必要な園もあり、今後の施設整備の方向性を検討するためにも、早急に市立幼稚園の将来方針を定める必要がある。

#### 《市立幼稚園の築年数一覧》【資料4】

令和4年4月現在

No.	園・所名	建築年月	年数(年目)
1	今市幼稚園	昭和45年 2月	52
2	大津幼稚園	平成 6年 3月	28
3	上津幼稚園	平成 9年 1月	25
4	塩冶幼稚園	昭和58年 3月	39
5	古志幼稚園	平成19年 3月	15
6	高松幼稚園	昭和52年12月	45
7	長浜幼稚園	平成18年 3月	16
8	四絡幼稚園	平成14年 3月	20
9	高浜幼稚園	昭和53年12月	44
10	川跡幼稚園	平成21年 7月	13
11	鳶巣幼稚園	平成19年 1月	15
12	朝山幼稚園	平成10年 3月	24
13	稗原幼稚園	平成 4年10月	30
14	神門幼稚園	平成12年 3月	22
15	神西幼稚園	平成16年 3月	18
16	平田幼稚園	昭和46年 3月	51
17	東幼稚園	平成19年 3月	15
18	湖陵幼稚園	平成17年 1月	17
19	大社幼稚園	昭和56年 5月	41
20	荒木幼稚園	昭和54年 2月	43
21	遙堪幼稚園	昭和54年12月	43
22	荘原幼稚園	平成24年 3月	10
23	西野幼稚園	平成15年 3月	19
24	中部幼稚園	昭和47年10月	50
25	中央幼稚園・保育所	平成 5年 3月	29

### (3) 市計画上の位置づけ

幼児期において、子どもが質の高い幼児教育を受けることができる環境を整え、小学校へつなげていくことが求められている。

幼児教育をどのように取り組んでいくか、環境をどのように整えていくかは、あり方検討の中でも基底に据えて考えていく必要があることから、2つの大綱、計画について、再確認をした。

#### ① 第2期出雲市教育大綱（令和4年度～令和8年度）

令和4年2月、出雲市が策定。

5年間の学校教育の取組方針や目標を示した大綱。

##### 【基本理念】

家庭・地域・学校で育む出雲の教育

～夢をもち未来を切り拓くしなやかでたくましい人づくり～

##### 【教育目標】

豊かな心と健やかな体をもち、自信をもって生きぬく人を育てます。

ふるさとへの誇りと愛着をもち、地域の発展を担う人を育てます。

確かな学力と豊かな創造性をもち、広い視野で世界にはばたく人を育てます。

多様性を認める寛容さをもち、持続可能な社会づくりに寄与する人を育てます。

#### ② 第4期出雲市教育振興計画（令和4年度～令和8年度）

令和4年9月、出雲市教育委員会が策定。

出雲市総合振興計画との整合性を図り、教育部門の構想・計画について、第2期出雲市教育大綱を踏まえ、総合的・具体的に表した計画。

以下、幼児教育関連の主な項目を抜粋する。

1. 教育を支える環境の充実
  - (2) 適正な教育環境の構築
    - ② 市立幼稚園の適正規模化と認定こども園化の検討
2. 「生きる力」の育成
  - (2) 幼児期の教育の充実
    - ① 教職員の指導力向上
    - ② 幼稚園における子育て支援の推進
    - ③ 小学校教育を見据えた幼児期の教育の充実
3. 困難を抱える子どもの支援
  - (1) 特別支援教育の充実
    - ⑥ 幼稚園等における特別支援教育の充実
    - ⑦ 早期からの幼児への発達支援

当該計画の中では、幼児期の教育の充実を図るため、

- ・教職員の指導力の向上
- ・幼稚園における子育て支援の推進、保護者支援の機能としての預かり保育事業
- ・保幼小の連携
- ・年中児発達相談の実施
- ・基本的な生活習慣の確立への取組
- ・全幼稚園におけるインクルーシブ教育の推進、拠点園や推進園の拡充

などが、記載されている。

現在は、市立幼稚園が、主としてその機能を担い、出雲市の幼児教育をけん引していき、そこに、市立幼稚園の存在意義があると考えます。

#### (4) これまでの取組と状況

##### ① 市立幼稚園の預かり保育事業の取組と利用状況

市立幼稚園において、在園児を対象に、保護者の就労や用事など子育て家庭のニーズに対応して、教育時間（9時00分～14時30分）外に預かり保育を実施している。（利用料あり。「保育の必要性」の認定を受けた場合は減免あり。）

- ・実施園；全園（25園）で実施

- ・預かり時間

- **長時間預かり**；7時30分～8時30分、14時30分～18時30分

今市、上津、高松、川跡、鳶巣、朝山、稗原、神門、中央、平田、東、湖陵、大社、遙堪、荘原、西野、中部、大津、塩冶、四絡、荒木

- **短時間預かり**；14時30分～16時30分

古志、長浜、高浜、神西

※ 短時間預かりの4園について、令和5年度から長時間預かりへ移行する

##### ≪ 預かり保育の利用率（令和4年6月の利用実績で計算） ≫ 【資料5】

長時間預かり	園名	園児数	利用者	利用率	短時間預かり	園名	園児数	利用者	利用率
	今市	53	27	50.9%		古志	20	9	45.0%
大津	56	20	35.7%	長浜	11	8	72.7%		
上津	9	9	100.0%	高浜	18	10	55.6%		
塩冶	81	33	40.7%	神西	18	16	88.9%		
高松	52	34	65.4%	小計	67	43	64.2%		
四絡	82	37	45.1%	<b>合計</b>					
川跡	54	33	61.1%	926	539	58.2%			
鳶巣	16	10	62.5%						
朝山	12	11	91.7%						
稗原	8	6	75.0%						
神門	50	28	56.0%						
平田	40	17	42.5%						
東	21	13	61.9%						
湖陵	30	17	56.7%						
大社	41	21	51.2%						
荒木	37	26	70.3%						
遙堪	14	7	50.0%						
荘原	49	29	59.2%						
西野	49	31	63.3%						
中部	37	28	75.7%						
中央	68	59	86.8%						
小計	859	496	57.7%						

※園児数および利用者は、広域受託を含む。

##### ≪ 「保育の必要性」の認定状況（令和4年7月1日時点） ≫ 【資料6】

長時間預かり	園名	園児数	認定数	認定率	短時間預かり	園名	園児数	認定数	認定率
	今市	54	23	42.6%		古志	20	8	40.0%
大津	56	19	33.9%	長浜	11	7	63.6%		
上津	9	5	55.6%	高浜	18	10	55.6%		
塩冶	80	33	41.3%	神西	18	13	72.2%		
高松	51	37	72.5%	小計	67	38	56.7%		
四絡	81	29	35.8%	<b>合計</b>					
川跡	54	30	55.6%	927	512	55.2%			
鳶巣	16	9	56.3%						
朝山	12	11	91.7%						
稗原	8	6	75.0%						
神門	50	23	46.0%						
平田	41	19	46.3%						
東	21	10	47.6%						
湖陵	30	19	63.3%						
大社	42	23	54.8%						
荒木	37	19	51.4%						
遙堪	14	11	78.6%						
荘原	49	31	63.3%						
西野	50	34	68.0%						
中部	37	26	70.3%						
中央	68	57	83.8%						
小計	860	474	55.1%						

※園児数および利用者は、広域受託を含む。

前頁の資料、市立幼稚園における「預かり保育の利用率」をみると、全体で58.2%が利用している。また、「保育の必要性の認定状況」をみると、全体の55.2%が就労等の理由で認定を受けている。市立幼稚園に通う園児の半数以上が、何等かの理由で、保育所ではなく幼稚園を選択して通っていることになる。

その理由について調査を行ったわけではないが、保護者が希望する保育所に空きがなく、やむを得ず幼稚園を選択し預かり保育を利用することで就労等が可能となる家庭の受け皿になっていることが予想できる。

### 《市立幼稚園の預かり保育の制度拡充の経過と効果》

#### 出雲市立幼稚園の預かり保育(短時間・長時間)開始年度と園児数の推移【資料7】

※ 上段；園児数、下段；うち預かり保育利用者数

園児数は、各年度5月1日（学校基本調査時）園児数

預かり利用者数は、平成26年度以前はデータ無し。

平成27年度は9月利用者数。平成28年度以降は5月利用者数

網掛けは、預かり保育開始年度

【単位；人】

園名	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	備考
今市	72 ( )	53 ( )	50 (18)	71 (31)	82 (37)	75 (35)	74 (38)	67 (23)	55 (25)	53 (26)	長時間は H27から
大津	81 ( )	80 ( )	74 (0)	60 (0)	70 (8)	72 (16)	70 (28)	62 (11)	54 (13)	56 (25)	長時間は R4から
上津	12 ( )	12 ( )	7 (7)	10 (9)	9 (7)	9 (7)	5 (5)	10 (8)	10 (10)	8 (9)	長時間は H24から
塩冶	95 ( )	104 ( )	111 (0)	113 (28)	99 (31)	111 (35)	114 (30)	107 (13)	82 (30)	81 (30)	長時間は R4から
古志	23 ( )	22 ( )	23 (0)	20 (0)	17 (4)	13 (6)	17 (12)	21 (4)	20 (14)	20 (7)	長時間は R5から
高松	70 ( )	67 ( )	53 (0)	61 (0)	54 (21)	57 (28)	61 (32)	61 (15)	59 (38)	52 (33)	長時間は R3から
長浜	28 ( )	32 ( )	33 (0)	34 (0)	28 (0)	27 (7)	26 (6)	21 (5)	14 (5)	11 (9)	長時間は R5から
四絡	125 ( )	119 ( )	116 (0)	117 (51)	110 (43)	109 (62)	101 (45)	102 (20)	92 (33)	83 (35)	長時間は R4から
高浜	45 ( )	53 ( )	49 (0)	44 (0)	41 (0)	32 (12)	33 (11)	28 (5)	24 (12)	18 (10)	長時間は R5から
川跡	88 ( )	84 ( )	59 (0)	82 (17)	79 (32)	81 (35)	60 (30)	51 (24)	49 (31)	54 (31)	長時間は H28から
鳶巣	32 ( )	30 ( )	42 (30)	38 (24)	38 (25)	27 (24)	21 (17)	14 (6)	15 (10)	15 (10)	長時間は H23から
朝山	27 ( )	15 ( )	13 (11)	14 (12)	14 (11)	19 (17)	19 (14)	15 (10)	15 (14)	11 (11)	長時間は H15から
乙立	2 ( )	2 ( )	0 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	休園	休園	休園	閉園	

園名	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	備考
稗原	23 ( )	20 ( )	10 (15)	22 (16)	15 (11)	7 (4)	7 (4)	8 (7)	8 (7)	8 (6)	長時間は H19から
神門	74 ( )	72 ( )	50 (0)	44 (0)	34 (18)	40 (24)	45 (22)	56 (23)	48 (27)	50 (28)	長時間は R1から
神西	38 ( )	33 ( )	23 (0)	23 (0)	24 (9)	29 (17)	20 (11)	22 (10)	22 (15)	18 (13)	長時間は R5から
中央	83 ( )	90 ( )	90 (71)	85 (71)	76 (58)	70 (55)	79 (60)	74 (56)	70 (59)	69 (57)	長時間は H16から
平田	98 ( )	83 ( )	84 (37)	70 (24)	67 (16)	62 (19)	54 (21)	47 (12)	39 (12)	40 (16)	長時間は H25から
東	75 ( )	72 ( )	83 (27)	62 (25)	53 (21)	52 (31)	57 (37)	45 (30)	37 (22)	21 (12)	長時間は H19から
多伎	36 ( )	20 ( )	閉園	/	/	/	/	/	/	/	民間譲渡し、 認定こども園
湖陵	31 ( )	38 ( )	45 (18)	50 (18)	52 (23)	44 (15)	37 (16)	36 (15)	36 (17)	30 (18)	長時間は H17から
大社	37 ( )	43 ( )	38 (10)	50 (10)	49 (18)	46 (29)	39 (26)	42 (12)	48 (35)	41 (21)	長時間は R3から
荒木	61 ( )	63 ( )	52 (0)	51 (0)	48 (0)	48 (21)	39 (18)	39 (6)	35 (16)	37 (23)	長時間は R4から
遙堪	22 ( )	24 ( )	24 (0)	18 (0)	17 (0)	15 (9)	15 (7)	11 (3)	12 (5)	13 (7)	長時間は R3から
日御碕	1 ( )	3 ( )	閉園	/	/	/	/	/	/	/	/
鵜鷺	0 ( )	0 ( )	閉園	/	/	/	/	/	/	/	/
荘原	63 ( )	60 ( )	63 (33)	67 (38)	70 (33)	68 (31)	65 (35)	49 (21)	57 (27)	49 (27)	長時間は H24から
西野	89 ( )	83 ( )	91 (32)	87 (26)	73 (24)	69 (30)	70 (27)	64 (17)	67 (33)	49 (30)	長時間は H24から
中部	59 ( )	63 ( )	59 (26)	53 (28)	43 (27)	56 (30)	46 (26)	47 (22)	42 (24)	37 (28)	長時間は H24から
出東	21 ( )	18 ( )	18 (11)	17 (11)	16 (11)	13 (8)	11 (8)	閉園	/	/	民間の 認定こども園
合計	1,511 ( )	1,458 ( )	1,369 (346)	1,365 (439)	1,280 (488)	1,252 (607)	1,185 (587)	1,099 (378)	1,010 (534)	924 (522)	

### 長時間預かり拡充の効果（令和元年度以降の8園で比較）のまとめ

- ① 前年比で園児数増 …5園（大津、神門、大社、荒木、遙堪）
- ② 前年比で園児数減 …3園（塩冶、高松、四絡）
- ③ 前年比で預かり利用増 …6園（大津、高松、四絡、大社、荒木、遙堪）
- ④ 前年比で預かり利用減 …1園（神門）
- ⑤ 前年比で横ばい …1園（塩冶）

全体の園児数が減少傾向にある中、効果が強く表れているとは言えないが、市の中心部に比べ、周辺部では一定の効果をもたらしている。保護者にとって助けになっていると言える。

## ② 幼児教育・保育の無償化の影響

前述、市立幼稚園の園児数の推移において、「幼児教育・保育の無償化となる以前は、保育所の保育料と比較し、幼稚園を選択される保護者もあったと推測するが、令和元年度に幼児教育・保育の無償化となってからは、保育料の比較で幼稚園を選択する保護者がいなくなったことも要因のひとつと言える。」と分析した。

実際、女性の就業意欲の向上により、出産後も早くから保育所入所の希望が高まっている。この流れは止まらず、幼稚園児を募集しても、就園年齢前の在宅児童が少なくなってきたのが現状である。就園前年齢で一度保育所に入所した保護者が、幼稚園就園年齢になり転園するという選択をされることは少ない。中には小学校へ一緒に入学するともだちづくりやスムーズな小学校への接続を理由に地元の幼稚園を選択される保護者もいるが、少数である。幼児教育・保育の無償化の影響は意外と大きいと考える。

## (5) 幼児教育について 市立幼稚園の役割

出雲市教育大綱の重点目標のひとつ「確かな学力」に、「幼児期は、学びに向かう力を育む重要な時期であり、就学前教育の充実に努めます」とある。

出雲市の幼児教育はレベルが高い。幼稚園であっても、保育所であっても、「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」を育て、小学校につなげていくことが大切である。

年々、幼稚園と保育所が一緒に研修をする場が増えてきているが、市をあげて実施しているのは県内出雲市だけである。出雲市の幼児教育をリードするのは公立である幼稚園の重要な役割であると考えます。

ワーキング会議では、公立の幼稚園だからこそ「できる」「すべき」役割、出雲市の幼児教育のリーダーシップをとっていく内容として、次の意見が挙げられた。

### 【① 幼児教育の充実にに向けた研究・実践】

- 幼稚園教育要領に基づく幼児教育の深化、充実、発信。教職員の指導力向上
- 出雲市及び出雲市教育委員会が策定している「第2期出雲市教育大綱」「第4期出雲市教育振興計画」に基づいた、どの園でも等しく同じ幼児教育を展開
  - ・ 出雲市幼稚園教育研究会の活動
  - ・ 園内研修の実施。市の幼児教育指導員の派遣（指導・助言）を受けての実施
  - ・ 研究・実践の成果を保育所と共有。保幼合同研修の実施

### 【② 特別な支援を必要とする幼児の受入れ】

- 特別支援拠点園（今市幼）やインクルーシブ教育推進園（中央幼）での受入れ
  - ・ 特別支援拠点園、インクルーシブ教育推進園及び通級指導教室の拡充
  - ・ 医療的ケア児の受入れ、関係機関等との連携
  - ・ 外国にルーツのある幼児の受入れ

### 【③ 保幼小の連携】

- 幼児教育から小学校教育への円滑な接続
  - ・ 幼稚園による保育所や小学校との連携強化
  - ・ 連携事業（保幼小合同研修、保幼小交流の日等）の実施

### 【④ 子育て家庭への支援】

- 広がる保護者のニーズに応える子育て支援
  - ・ 預かり保育事業の実施（長時間預かり、長期休業中の預かり保育）
- 在園児保護者の子育て相談や未就園児のいる家庭に対する子育て支援など、子育て支援センター的な機能
  - ・ 未就園児教室の実施等による保護者の家庭教育支援
  - ・ 子育て相談への対応

### 【⑤ 地域と連携した子育て支援】

- 地域の人々との交流や連携した園活動
  - ・ 幼稚園自主企画特別事業の実施。地域講師の招へい
  - ・ 幼稚園運営協議会
  - ・ 地域行事や地域コミュニティセンターの行事への積極的な参加等による、地域の伝統・文化の継承

## （6）幼稚園教育従事者の思い（委員の意見から）

### ① 出雲市の幼児教育推進のリーダーシップを担う市立幼稚園

- ・ 充実した研修を行っている。全園が同じ方向性を持った教育をしている市立幼稚園が、出雲市の幼児教育推進のリーダーシップを担う役割がある。
- ・ 保育所等との合同研修を実施。市全体としての幼児教育の指導力向上を図っている。

### ② 集団教育を活かした、質の高い幼児教育を提供する市立幼稚園

- ・ 家庭よりも大きな集団の中での幼児の自発的な活動である「遊び」を通して様々な体験をし、様々な考えに触れ、互いを認め合い、協力し合い、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力の基礎」、「学びに向かう力や人間性」といった資質や能力を育成する重要な場として、質の高い幼児教育を提供している。
- ・ 幼児の発達や学びの連続性を確保しながら、小学校生活への憧れや見通しを持つことのできる遊びや活動を取り入れるなど、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を意識した教育課程のもとに幼児教育を実践している。

### ③ インクルーシブ教育を推進する市立幼稚園

- ・支援の必要な幼児を受入れるため、特別支援拠点園やインクルーシブ教育推進園を核として、全園での受け入れ体制がある。
- ・医療的ケア児の受け入れを推進する。
- ・外国にルーツのある幼児の受け入れ体制がある。

### ④ 保護者ニーズに応じた教育・保育を展開する市立幼稚園

- ・保護者の幼児教育への関心が高く、幼稚園と保護者のつながりが深い。
- ・一時預かり事業を全園で展開し、保護者ニーズに対応している。一方、利用保護者からは、長期休業中の昼食提供（現在は保護者による弁当対応）を強く望まれている。
- ・未就園児教育の拡充として、満3歳児学級の実現や認定こども園化の声がある。

### ⑤ 園児確保への取組

- ・幼稚園利用者等（保護者）の評価（学校評価等）は高いため、幼稚園の取組をもっとPRしたい。
- ・幼稚園就園年齢になっても、保育所から幼稚園への転園を選択する保護者は少数であり、認定こども園の検討も必要。
- ・発達段階に応じた、質の高い集団教育・保育を提供するための園児数でクラス編制ができることが望ましい。

## (7) 課題の整理

これまでの調査・分析、現状把握、ワーキング会議委員の意見等から、市立幼稚園のあり方の検討を進めるうえでの課題の整理を行った。

### ① 社会情勢の変化に伴う市立幼稚園の役割・意義の希薄化への対応

核家族化や共働き世帯が増加する社会における、保護者ニーズの変化に対応した幼児教育・保育の取組の展開・充実が必要である。

保護者からのニーズが高い一時預かり事業の実施継続、支援の必要な幼児や医療的ケア児、外国にルーツのある幼児等の積極的な受け入れなど、市の幼児教育をリードする取組を市立幼稚園が率先して担う必要がある。

また、これらの取組を広く知ってもらうための、効果的な、幼稚園の魅力発信・PR方法を検討する必要がある。

### ② 質の高い幼児教育の提供の維持

園児の減少が進む中であっても、発達段階に応じた、質の高い集団教育・保育を維持するための園児数でクラス編制ができることが望ましい。

### ③ 集団教育・保育のあり方の検討、見直し

①②を踏まえた集団教育・保育のあり方について検討し、将来的に市立幼稚園の役割が果たせるよう、認定こども園化を含め、教育・保育の提供体制等を見直す必要がある。

#### (8)「市立幼稚園のあり方検討」の今後の進め方

令和4年度は、子ども未来部長を座長とし、幼稚園長等で構成する「市立幼稚園のあり方検討ワーキング会議」を立ち上げ、現状把握やデータの分析により、課題の整理を行った。

令和5年度には、ワーキング会議で整理した課題等をもとに、幅広い視点により検討をするため、有識者や地域選出者等で構成され、教育政策の根幹を審議する「出雲市教育政策審議会」において、「今後の市立幼稚園のあり方」について審議いただき、具体的な計画化を進めたい。

なお、検討を進めるにあたっては、保育所運営を担う組織関係者、子育て世代の保護者や地域などからの意見を伺う必要があると考える。

# 《 資料 》

## 出雲市立幼稚園の園児数 推移

幼稚園名/年度		H元	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	
1	今市	園児数	85	84	79	82	75	68	77	94	92	72	53	50	71	82	75	74	67	55	53
		学級数	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3
2	大津	園児数	170	120	108	86	94	78	74	66	80	81	80	74	60	70	72	70	62	54	56
		学級数	6	5	5	4	5	4	4	3	4	3	4	3	3	4	3	3	3	3	3
3	上津	園児数	28	25	24	16	15	10	6	8	12	12	12	7	10	9	9	5	10	10	8
		学級数	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	1	2	1	1	1	2	2	1
4	塩冶	園児数	234	158	156	167	146	127	108	106	102	95	104	111	113	99	111	114	107	82	81
		学級数	7	6	6	6	6	6	5	5	5	4	5	5	5	4	6	6	5	3	3
5	古志	園児数	56	21	26	32	31	29	25	22	19	23	22	23	20	17	13	17	21	20	20
		学級数	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
6	高松	園児数	111	114	110	104	105	97	97	82	82	70	67	53	61	54	57	61	61	59	52
		学級数	4	5	5	5	5	5	4	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
7	長浜	園児数	26	26	36	32	32	31	26	26	19	28	32	33	34	28	27	26	21	14	11
		学級数	1	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2
8	四絡	園児数	174	157	176	159	160	153	150	136	135	125	119	116	117	110	109	101	102	92	83
		学級数	6	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	4	6	5	3
9	高浜	園児数	54	46	54	64	57	46	36	31	34	45	53	49	44	41	32	33	28	24	18
		学級数	2	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	2	3	2	2	2	2
10	川跡	園児数	103	103	105	95	88	89	106	95	101	88	84	59	82	79	81	60	51	49	54
		学級数	3	5	5	5	4	5	5	5	5	4	4	3	4	3	3	3	3	3	3
11	鷹巣	園児数	50	18	23	23	27	29	29	27	26	32	30	42	38	38	27	21	14	15	15
		学級数	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2
12	朝山	園児数	43	46	32	27	30	36	34	29	32	27	15	13	14	14	19	19	15	15	11
		学級数	2	3	3	2	2	3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
13	乙立	園児数	11	14	15	16	12	11	8	5	4	2	2	0	2	2	1	0	0	0	0
		学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0
14	稗原	園児数	59	22	19	19	23	22	21	27	28	23	20	19	22	15	7	7	8	8	8
		学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
15	神門	園児数	112	98	97	96	75	70	66	68	74	74	72	50	44	34	40	45	56	48	50
		学級数	4	5	4	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3
16	神西	園児数	69	56	53	48	42	39	40	36	35	38	33	23	23	24	29	20	22	22	18
		学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
17	中央	園児数		73	84	82	78	84	88	85	84	83	90	90	85	76	70	79	74	70	69
		学級数		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
18	平田	園児数	159	194	190	188	152	128	111	101	99	98	83	84	70	67	62	54	47	39	40
		学級数	5	7	7	8	6	6	5	5	5	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3
19	東	園児数	110	97	91	97	89	99	85	81	65	75	72	83	62	53	52	57	45	37	21
		学級数	4	4	4	5	4	5	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2
20	多伎	園児数	101	43	48	40	45	45	48	49	40	36	20	0	0	0	0	0	0	0	0
		学級数	6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
21	湖陵	園児数	111	65	69	57	55	49	51	54	43	31	38	45	50	52	44	37	36	36	30
		学級数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	2	3
22	大社	園児数	104	65	56	55	51	41	41	40	46	37	43	38	50	49	46	39	42	48	41
		学級数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
23	荒木	園児数	101	75	63	78	79	74	74	66	60	61	63	52	51	48	48	39	39	35	37
		学級数	4	4	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	2	3
24	遙基	園児数	60	42	38	37	29	22	21	20	24	22	24	24	18	17	15	15	11	12	13
		学級数	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
25	日御碕	園児数	22	9	5	4	4	3	3	3	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
		学級数	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
26	鶴鷺	園児数	6	2	3	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		学級数	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	莊原	園児数	65	81	87	83	76	65	61	66	76	63	60	63	67	70	68	65	49	57	49
		学級数	2	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3
28	西野	園児数	72	116	131	128	116	112	101	100	88	89	83	91	87	73	69	70	64	67	49
		学級数	3	5	6	6	5	5	5	5	3	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3
29	中部	園児数	38	56	80	68	61	61	57	56	63	59	63	59	53	43	56	46	47	42	37
		学級数	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
30	出東	園児数	41	32	31	32	25	27	20	12	24	21	18	18	17	16	13	11	0	0	0
		学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0
合計	園児数	2,375	2,058	2,089	2,018	1,874	1,746	1,664	1,591	1,589	1,511	1,458	1,369	1,365	1,280	1,252	1,185	1,099	1,010	924	
	学級数	91	98	100	101	93	95	89	85	85	83	81	76	77	75	72	69	70	65	63	
	園児数前年比			31	△ 71	△ 144	△ 128	△ 82	△ 73	△ 2	△ 78	△ 53	△ 89	△ 4	△ 85	△ 28	△ 67	△ 86	△ 89	△ 86	

市立幼稚園のあり方検討ワーキング会議 委員

令和4年(2022)7月26日 第1回会議

No.	区分	氏名	所属等	備考
1	座長	小村 信弘	出雲市 子ども未来部長	
2	委員	藤江 素子	出雲市立塩冶幼稚園長	園長会長
3	委員	今岡 篤子	出雲市立今市幼稚園長	
4	委員	原 久美子	出雲市立湖陵幼稚園長	
5	委員	高橋 均	出雲市立中部幼稚園長	
6	委員	常松 博雄	出雲市教育委員会 教育政策課長	
7	委員	岸 直子	保育幼稚園課 幼児教育指導員	
8	委員	金築 健志	出雲市 子ども未来部次長 兼 保育幼稚園課長	
	事務局	南場 正直	保育幼稚園課 課長補佐	
		高松 容子	保育幼稚園課 運営係長	

《ワーキング会議》

- ① 第1回会議 7月26日(火) 市民応接室
- ② 第2回会議 8月25日(木) 601会議室
- ③ 第3回会議 10月20日(木) 403会議室
- ④ 第4回会議 2月 6日(月) 市民応接室